

1. 国慶節

国慶節（こっけいせつ）は中国の建国記念日で、毎年10月1日に祝われます。この日は中華人民共和国の成立を記念しており、全国で盛大な祝賀行事が行われます。特に「黄金週間」と呼ばれる7日間の大型連休では、多くの人々が旅行や帰省を楽しみ、街はパレードや花火大会などのイベントで祝賀ムードに包まれます。

この連休中、北京出身の友人と一緒に杭州を観光しました。彼女とは、大学院時代の中国人留学生を通じて知り合い、8月からオンラインで言語交換を始め、現在も互いに日本語と中国語を教え合っています。友人が出張で杭州に来ていたため、その合間に杭州の二大観光地である、西湖（せいこ）と靈隱寺（れいおんじ）に行きました。国慶節の影響で非常に混雑しており、まるで人の海のような様子でした。実は、西湖は雨の日が特に美しいようで、私達がちょうど訪れた日も雨だったため、霧に包まれた幻想的な雰囲気を堪能できました。夕方に訪れた銭塘江では観光客が少なく、落ち着いた雰囲気の中でゆったりと景色を楽しめました。



↑西湖 雷峰塔（仏塔）



↑西湖 雷峰塔（仏塔） 頂上からの西湖の眺め



↑靈隱寺での混雑模様とお守り



↑天気にも恵まれた夕方の銭塘江



2. 上海旅行

10月18日の浙江大学運動会に伴う三連休を利用し、上海旅行に行ってきました。運動会への参加は留学生に義務づけられていないため、この期間中に旅行する学生も多く見られました。

私は18日午後、杭州東駅から高铁（日本で言う新幹線）に乗り、上海に向かいました。上海までは高铁で片道約1時間です。高铁のチケットは、友人の勧めにより「铁路12306」という便利なアプリで事前に購入しました。このアプリは英語表記です。外国人はパスポートを使用し、セキュリティチェックとゲートでのチェックインを済ませてから乗車します。初めての乗車は緊張しましたが、係員のサポートのおかげで無事に乗れました。

滞在中は、上海に住む友人の案内で楽しいひとときを過ごしました。初日は友人の会社を訪れ、社長やインターン生と共に「海底捞（かいていろう）」で食事を楽しみました。また、翌日には彼女の大学院生時代の友人も加わり、外灘の素敵なカフェ「naive理想国」や人気香水ブランド「观夏（to summer）」にも立ち寄りました。あっという間の3日間でしたが、上海の魅力をもっと感じたので、週末を利用してまた訪れたいと思います。



↑海底捞（かいていろう）

辛すぎず火鍋ビギナーも挑戦しやすい。

店内で変面やカンフー麵パフォーマンスが行われる。



↑naive理想国 2階作家の部屋

文学作品との融合が趣深い。

ジャスミン茶のセットを注文、3つともすっきりとした味わい。



↑記念のチェキ

3. 選択科目「古典舞」、「中国城市」

10月8日以降の時間割

時間	月	火	水	木	金
8:00-9:35	精読	口語	精読	口語	精読
9:50-11:25	閲読	聴力		精読	閲読
14:55-16:40	古典舞			中国城市	

10月から選択科目が始まりました。選択科目は1人2科目まで選択でき、午後に実施されます。私は「古典舞」と「中国城市」を選択しました。各クラスのレベルに合わせて科目の選択肢が異なります。3班の学生は他にも「中国象棋（中国式チェス）」や「唱中文歌学汉语（中国語の歌）」などを学ぶ授業も選択できます。

月曜日の「古典舞」は、中国のチベットダンスを学ぶ授業です。ダンス好きの私にとって、今学期にダンスの選択科目が開講されることは非常に光栄でした。また担当の先生が、精読を担当する黄先生であることもこの科目を選んだきっかけです。授業では、中国式のタップダンスや、「雪域陽光」と呼ばれる、クラシックバレエに似た動きをするダンスを習っています。この授業は1-3班対象で、先生の説明には英語も多く使われています。

一方、木曜日の「中国城市」は3-7班対象で、中国語で進められます。授業では、有名な観光地や地元料理などについて、動画も使いながら詳しく紹介されます。中国各地の都市に関する知識を深められる点が魅力です。試験がないためリラックスして参加でき、学生の間でも人気の科目です。

4. まとめ

今月は大型連休と三連休を利用して、様々な観光地を巡りました。中国語の授業に加え、選択科目も始まり、更にオンラインでの日本語授業も担当しているため、忙しくも充実した生活を送っています。来月は中間テストや「淘宝（タオバオ）」を活用したネットショッピングについてもご紹介できればと思います。